

全国学力調査結果の考察・改善策について

生徒数：163名 学級数：9 学級

	成 果	課 題	改 善 策
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」の領域に関して全国平均を上回っているか同じであった。 ○全体的に「無解答」が全国平均より低い傾向である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」の領域に関して正答率が低く、記述よりも選択する形式の正答率が全国平均より低い。 ○「読むこと」の領域に関して全国平均を下回った。 ○記述式の中でも、話し合いの方向を捉えて自分の考えをもつことに関して正答率が全国平均より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」に関する問題を授業や復習テスト・定期テストなどに取り入れ、問題の傾向に慣れさせる。 ○条件に合うような自分の考えを明確に記述する学習を授業で取り入れる。
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ○無解答率は全国平均を下回っている問題も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どの領域についても、全国平均を下回った。数と式については、若干下回った。 ○特に関数の領域については、全国平均より大きく下回っており、無解答も多い。 ○記述式の問題については、平均を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識理解についても平均を下回っているので、関連する単元の際に復習したり、小テストを行ったりすることで習得させる。 ○関数に関しては、関数同士でのつながりや表、式、グラフのつながりを意識させて指導する。
英 語	<ul style="list-style-type: none"> ○「聞くこと」については全国平均を下回っているものの、他領域より、若干全国平均に迫っている。問題によっては全国平均と同等である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どの領域も正答率は全国平均を下回っている。 ○「読むこと」と「書くこと」の領域では、正答率が全国平均より大きく下回っている。 ○特に記述式の問題で、まとまりのある英文を書くことが平均より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○まとまった英文や会話を読んで、情報や要点を捉える練習問題や小テストを行う。 ○習った文法や語句を用いて、ある程度まとまった量の英語を話したり、書いたりする機会を多く作る。
生徒 質 問 紙 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの項目で全国平均より高い傾向にある。特に「学校に行くのが楽しい」と思っている生徒の割合は全国平均より高い。 ○自分で学習の計画を立てたり、地域の行事に参加したり、地域のことについて考えたりすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめは、どんな理由があってもいけない」と思っている割合が、全国平均より低い。 ○家庭学習や新聞、本を読む時間が全国平均より短い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳や普段の学校生活の中でいじめや対人関係について学ぶ機会を作る。 ○各教科を通して、家庭学習の仕方を提示したり、新聞や本を読むことの楽しさや大切さを味わわせたりする。

＜学校全体で重点的に取り組む事項＞

- 1 単位時間のねらいを明確にする。
- ペアや班活動を通して、一人一人の学びを広げ、お互いの考えを理解し共有する。
- 授業の始めに授業の流れを可視化する。
- 生徒のつまずきを予測し、個に応じた対策・準備をする。